

【小川北義務教育学校区】

〈令和7年度の取組〉

- ・自分の考えを表現できるようにするための手立てとして、発達段階に応じて、筋道を立て、根拠を明確にして説明できるようにするための掲示物、資料（“説明の「型」”）を作成し、授業で実践しました。
- ・児童生徒会が中心となって運営するボランティア活動「KSD（北義務ステップアップデー）」を全学年で実施しました。
- ・地域の人材活用として、登校時の見守り、家庭科のミシンの使い方補助、田植え・稲刈り体験のボランティア、「話し方教室」「こんぺいとう」の2団体と連携しての読み聞かせなどを実施しました。
- ・防災フェスティバルを地域コミュニティ、学校運営協議会、PTAの協働による学校行事として開催しました。



1～9年の縦割り班で参加した防災フェスティバル



学校支援ボランティアを活用した稲刈り体験

〈令和7年度の成果と課題〉

（成果）

- 市生涯学習課との連携を密にし、多教科への学習支援、田植え・稲刈り体験補助・指導、読み聞かせ、交通安全指導など多岐にわたる学校支援ボランティアの活用が図られました。
- 「防災フェスティバル」では、全校児童生徒が縦割り班に分かれ、様々な体験やクイズなどの活動を通して、地域の防災への取組や災害時の対応の仕方について学ぶことができました。

（課題）

- ボランティアの人材確保について、コーディネーターに頼ることが多く、保護者の協力については課題が残りました。